

クサボケ

植物界

バラ科

ボケ属



特徴: 日当たりの良い山野、草原に生える落葉低木。

幹は30cm内外で棘状の小枝がある。早春、葉より先に柔らかい緋色の花をつける。果実は黄色に熟し、果実酒にできる。



指標性と選定理由:

草原性希少植物が生育する草原の指標種。花が美しく目立つ。根が深いので採掘圧に対して抵抗性があり、在来草地の保全を広くアピールするのに適当な種である。

調査に適した時期: 通年。花期の4月が最適。

生育場所と調査のコツ:

開けた日当たりの良い草地に咲く。花と同時に葉や枝振りを覚えておけば開花時期以外でも生息を確認できる。秋には非常に大きな実が実る。開花しても結実するとは限らない。

群落の立地条件と結実具合の関係を調べれば、花粉の媒介者を含めた相互関係が保存されている立地かどうかを調べることが出来る。



生息環境